

イワシ續々水揚

浜の景氣當分續く

前日に引續き小名浜揚子 船はイワシ群を追って出 漁中であるが昨十八日、 野崎貞行氏所有の漁船は 四十六百三十三代義勝氏所 有の漁船は六千六百貫を水 揚げ二百二十五円から二 百五十円まで一部地元消費 の外都市に出荷した

税務相談會

新法の説明と徴税の確保 について地方事務所では 十七日より三十一日まで 縣稅務相談員を集め相談 會をひらくことになった 日程は次の通り
二十日湯本町、二十五日 小名浜町、二十六日江名 町、二十七日四ツ倉町

石城歌話會

石城歌話會は来る二十八 日午前九時より平市公会 堂に於いて年刊歌集出版

湯本自由勞組分裂

前組 反共を理由に脱退

湯本町自由勞組では去る 十三日湯本町中學校に於 いて定期大会を開き役員改 選を行つた結果、組合長に 木重昌氏が當選、一方同 組合の生の親である前組 組合長坂本義男氏は反共 の立場から同組合に脱退 を申入れ、鈴木氏が新組 組合長である自治勞働組合 と分離して新たに自由 勞組を結成組合は完全に

小説 雲遙かなり

伊納川 銀

愛情のきずな 三
「許して。」
長田の肩に両手をかけ て見上げた富子の目に、 新たな涙が玉と化した。
長田は、静かに富子の手 をほどきながら、もう一 度公園の方を歩みかけた。
「知らなかつた。君の夫 が高濱君の弟とは。」
「わたしは、かくしていた 譯じやなかつたのでも。」

狙撃の原因語らさず

拳銃は韓國人から入手

(昨報)小名浜町後宿 住無職大内清治(四二)に 係る殺人未遂事件は町警 にて渡邊刑事課長が取調 に當つて、本人の 申立てに依るが、本人の かねてから小野一が自 分に對する態度が腑に 落ちない点があつたの で、つきり語らさず、た ため小野を訪問した。 又鈴木自治組合長は 「私は共産黨員でもな ければ共産主義者でも ない何れの公黨にも入 黨はしてないが、む しろ防共の強い考 え方を持つて、組 合は決して政治結社で はなく組合運動はあく 向いた。

自轉車盜難

湯本町三葉菓子製造業赤 津清五郎(五七)さんは十 日午後八時、無職鹿 股ヨツさん方に十五日午 後十一時頃、自轉車を 破り、侵入保管中のモトタ 賊が侵入保管中のモトタ

薪を背負い凍死

日頃の身心衰弱が原因
昨十八日早朝小名浜町 町警署で同町久保山醫院 町警署で同町久保山醫院 町警署で同町久保山醫院

常磐炭礦探訪記

スキップ捲
湯本町に足を踏み入れた 探訪の結果、同町後宿三 八番地橋元(四三)さん 心と判明、本人は日頃身 心とも衰弱してゐるに物 心も衰へて、このズリ山 山で凍死した。このズリ山 山で凍死した。このズリ山 山で凍死した。

魚菜市況 18日

【小名浜中央青果市場】
ねぎ 三三〇円
人参 二四八〇円
切な 二四八〇円
【小名浜魚市場】
いわし 二二五〇円
平目 七三〇〇円
小名浜 四〇〇〇円
また 二七〇〇円

金 齋藤 晃商店
大黒屋号
委託製造
開始いたしました
是非御利用の程を
小名浜町住吉
電話三二七番

芳醇天下一
小名浜町(電6番) 商店 一
清水野 義一
セイセカイ

外務社員急募
(男女共 六名)
容姿すぐれたる女性
信用のある男性
すぐ来れ!!
◎固定給あり
希望者は一月二十一日午前十時迄履歴 書持参の上来所されたい
うちわ、扇子、カレンダー
諸印刷、廣告百般
大和カレンダー平營業所
平市一丁目三番地
電話一九三番

海岸線唯一
眺望絶佳
割烹旅館 萬里莊
小名浜公園内
電話二七五